当別・新篠津ブロック

「掲示物の紹介」　　新篠津小学校　久保　美菜未先生

　持ち手を持ってカードをくるくる回すと、表面のイラストと裏面のイラストが重なって見えるようにできています。

　スイカやカニ、ひまわりなど、季節感のある夏らしい装飾と一緒に掲示しています。

　新型コロナウイルス感染症禍のため、掲示物を見る子どもたちが密にならないよう、間隔を広く空けて掲示しています。

　また、子どもが触れる持ち手の棒を消毒できるように、金属の棒を使用しているところがポイントです。

当別・新篠津ブロック

「掲示物の紹介」　　西当別中学校　菊池 朝子先生

新型コロナウイルス感染症や、食中毒の予防の観点から「手洗い」に関する掲示物を作成しました。

①洗っていない手　②水洗いした手　③石けんで洗った手でそれぞれ食パンを触り、カビの生え方を観察する実験をしました。チャック付きビニール袋に入れて３週間ほど様子を見ました。

カビが多く生えた順に、
②水洗いした手、①洗っていない手、③石けんで洗った手　という結果になりました。
手洗いは水洗いだけでは不十分ということを伝えることができました。

ブラックライトで洗い残しをチェックする「手洗いチェッカー」を設置しました。「洗えていないところが見えて面白い」など、生徒からは好評でした。